

2010年度地域文化演習・地域文化調査法・地域調査入門・地域環境演習・地域環境調査法のテーマ・内容・調査地域一覧

地域文化演習(3年選択必修)

教員名	記号	演習テーマ	演習内容等	授業
小田匡保	A	歴史地理・文化地理の論文講読と地域調査	前期は、発表担当を決めて、歴史地理・文化地理を中心とした人文地理学の論文講読を行なう。後期は、地域調査を体験するため、9～11月に2～3泊で現地調査を行なう。場所は、学生からの希望がなければ、長野県飯田市を考えている。その後、集まった資料を分析・整理し、最終的な報告書をまとめる。	水 5
佐藤哲夫	B	タイの地域研究	タイの観光に焦点を当て、外国語文献の講読、地図や衛星画像の利用、統計の分析など海外地域の研究法を学ぶ。前期には観光に関する文献を輪読し、タイの基礎知識を得る。後期はタイの観光全般を学び、特定地域について研究する。「地域研究論」を履修していることが望ましい。英語が嫌いな人は絶対履修しないこと。	金 5
須山 聡	E	奄美大島の地域性	奄美大島の地域的性格を多面的にとらえる。文献講読・統計分析に加え、現地における土地利用・景観調査、聞き取り調査を実施する。グループごとに課題を設定するが、今年度は郷土料理やシマウタなども想定する。現地調査は6/28～7/2を予定している。成果報告書を刊行し、奄美で発表会を開催したいと考えている。	金 4
櫻井明久	F	地誌的な調査法	地域・地誌とは何かについて考え、農村地域(那須)と世田谷周辺で現地調査を行い、野外調査の基礎を学ぶ。後期には調査結果をまとめる方法を実践的に学ぶ。一方、現地調査のできないヨーロッパなどについて、様々な書物、論文などから描き直す。那須での調査は5月に2泊3日で予定している。	水 2

地域文化調査法(3年選択必修)

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	授業
橋詰直道	A	地方都市の機能と自立	高知市およびその周辺	6/26～29	地方都市の機能と自立を現地調査を通して考える。班に分けて調査し、報告書をまとめる。6月までは文献検索と文献レビューの発表を行う。現地調査期間中も毎日レポートを課す。後期に報告書用原稿を執筆する。12月に報告書の班別発表を行う。	月 5
高橋健太郎	B	農村地域の生活と産業	秋田県大潟村	9～10月(3泊)	前期は文献を講読したり統計資料を分析し、調査の準備をする。後期の調査では、農村の生活様式の変化や農業経営について調べ、調査報告書をまとめる。「村落地理学」を未履修の人は、同時に履修のこと。	月 3
土'谷敏治	F	都市の地域構造、都市の交通問題	茨城県ひたちなか市	10月中旬	文献の講読に始まり、調査テーマの決定、事前調査、現地調査を経て、最終的に調査報告書を作成する。公共交通が主要テーマの1つなので、公共交通機関と人力で調査することが前提である。現地調査は、個人・グループのどちらで実施してもよい。	火 5

地域調査入門(2, 3, 4年選択)両専攻共通

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	授業
高橋健太郎	A	農山村を知る、考える	長野県栄村	6月(3泊4日)	調査合宿では農山村の暮らしや生業、少子高齢化にともなう地域社会の変化、行政の広域連携などについて聞き取りをする。	火 4 前期
佐藤哲夫	B	那覇の自然・歴史と街並み	那覇市	6/24～27	那覇市をフィールドに、都市における地域調査の方法を地図の利用と観察を中心に学ぶ。現地では見学、課題についての調査、各自のテーマについての調査をおこなう。費用は6万円以上。地形図の読図ができない人は履修しないこと。	水 5 前期
平井幸弘	D	湖沼の環境保全・自然再生活動	諏訪湖または浜名湖	10月下旬～11月上旬(1・2泊)	湖沼の環境保全や自然再生について、地域の人々がどのような問題意識で、具体的にどのように関わっているのか、資料・文献、および現地での聞き取りや観察を通して考える。	火 2 後期
須山 聡	E	海峡地域の地域性	関門海峡ほか	11月第1週(2泊)	海峡をはさんだ地域間の結びつきを観察する。具体的な地域は下関・門司・博多だが、希望によっては他の地域も考慮する。	水 4 後期

地域環境演習(3年選択必修)

教員名	記号	演習テーマ	演習内容等	授業
平井幸弘	A	水辺(湖沼・海岸)の環境問題	前期は、主に日本の水辺(とくに湖沼及び海岸)における環境問題に関する文献を講読し、論点を整理する。夏季休暇前に、1泊2日で関東地方の湖沼のうち1・2箇所を訪ね、現地での観察を元に議論する。後期は、各人が具体的なテーマを設定し、関連するデータを収集・分析し、発表を行ってレポートにまとめる。	水 4
高木正博	F	水環境・水利用	研究テーマに関する文献調査・現地調査についての検討。結果のまとめ(レジュメの作成)と研究発表。希望によっては合宿・小巡検を実施する。	金 5

地域環境調査法(3年選択必修)

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	授業
田中 靖	B	八重山諸島の人と自然	石垣島	10月中旬	調査は3泊4日の予定。前半は全体巡検、後半は班別にテーマを決めての自由調査とする。主要テーマはサンゴ礁、古環境復元、空港建設、土地利用の変化、赤土の流出、津波石、離島の生活存立基盤など。	水 3
長沼信夫	D	道南地域の自然と生活	函館地域	6/29～7/2	①函館平野の地形、②港湾と水辺環境、③水産業、④函館・湯の川の観光と温泉、⑤その他、函館地域に関する地理的題材。	月 5
早船元峰	E	祖谷地方の自然と人間	徳島県	3泊4日	自然(地形・気候)・農業・民俗・観光班に分け班別行動。	木 4

\*演習と調査法、地域調査入門と演習または調査法を履修することも可能です。希望人数によっては調整することもあります。